



3月市議会

プレミアム付商品券

消費税の10%を前提に！

習志野市議会は、2月19日に2019年市議会第1回定例会が招集され、3月19日まで議案を審議しました。追加議案として審議された「プレミアム付商品券事業」についてご紹介します。

◎国の事業の概要

1、事業の目的

消費税・地方消費税の10%への引き上げが低所得者・子育て世帯（0～2歳児）の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として、プレミアム付商品券の販売を行う。

2、商品券を購入できる人

①2019年度 住民税非課税者（課税基準日2019.1.1）

※ただし、住民税課税者と生計同一の配偶者・扶養親族、生活保護を受けている者を除く。

②3歳未満の子が属する世帯の世帯主（基準日2019.6.1）

※基準は、2016年4月2日～2019年6月1日生まれの子。

3、制度概要

（1）購入限度額

①2019年度 住民税非課税者

【券面額2万5千円を2万円で販売】

②3歳未満児が属する世帯主

【券面額2万5千円を2万円で販売】

× 3歳未満児の数

（2）割引率

20%（プレミアム補助額 5千円）

（3）使用可能期間

2019.10.1 ～ 2020.3.31

（4）取扱事業者 市町村内の店舗

4、スケジュール

7～8月頃 非課税者購入希望申請書
発送及び申請受付

9月頃 購入引換券発送

10月～2月 商品券販売

10月～3月 商品券の利用

◎習志野市における事業概要

1、商品券を購入できる対象者数

①2019年度住民税非課税者（課税基準日2019.1.1）、約22,000人

※ただし、住民税課税者と生計同一の配偶者・扶養親族、生活保護を受けている者を除く。

②3歳未満の子が属する世帯の世帯主（基準日2019.6.1）、約4,500人

2、発行金額総額及び発行冊数（上限）

（1）発行金額 6億6,250万円

（2）発行冊数 13万2,500冊

（3）参加店舗数 約800店舗

以上が事業の概要ですが、プレミアム付商品券事業は消費税を10%に上げることを前提とした事業です。しかし今、消費税を10%に上げることには大変問題があります。

その理由は、

- ①消費税を上げることの前提である、「景気回復」の実感がないこと。
- ②消費税が上がれば、家計を圧迫する事。2014年4月に消費税が8%に上がった時、年間8兆円の負担増となり、年収500万円から550万円、4人世帯の場合、年間7万1千円の負担増となると、政府の説明がありました。大幅な負担増ですね。
- ③消費税が上がる一方で、法人税が下げられること。消費税は誰もが等しく負担することから、お金持ちの方が負担感が少ない、つまりお金持ち優遇であります。また、大企業は法人税が下がる上に、大企業に対する様々な優遇措置があること。法人税を下げるのがセットになっていないのであれば、まだしも、日本の消費税率引き上げは、社会保障費の増大に 대응するという目的にまっすぐ向いているとは言えません。

さらに、国のプレミアム付商品券事業は、平成27年にも行われましたが、この時は低所得者等の限定が無く、対象を幅広くしていたのに、今回の対象者はかなり限定されています。また、この事業はずっと継続するものではなく、今回1回だけです。

消費税率10%への引き上げが消費に与える影響は、この事業ではとても緩和できません。今後ずっと、家計に重い負担がかかってくることは、否定できないと思います。

市立大久保こども園 開園式

3月23日(土)、市立大久保こども園の開園式が行われました。習志野で最初に生まれた保育所である大久保保育所と、新栄幼稚園を統合して開園されました。習志野市では、東習志野、杉の子、袖ヶ浦に次いで、4番目の市立こども園です。



こども園は、幼稚園と保育所の両方の機能と、こどもセンターを併設することで子育て支援の拠点となる事を目指していますが、数々の課題もあります。

短時間児(いわゆる幼稚園児)と長時間児(保育所園児)が併存することで、保育に問題が生じています。例えば、午睡(お昼寝)です。午睡は短時間児が帰った直後となるため、落ち着いた環境の中での午睡になっていません。また、保護者同士の理解も難しいなどの課題があります。

藤崎ちさこ選挙事務所を開設!

4月21日、習志野市議会議員選挙が行われます。藤崎ちさこの選挙事務所を開設しました。気軽にお立ち寄り下さい。

【住所】習志野市津田沼4-9-19

ワイがや通り 植草ふとん店隣り

【電話】047-481-8840